

予算審査特別委員会総務分科会

- 1 開会日時 令和3年6月15日（火）午前11時15分
- 2 閉会日時 令和3年6月15日（火）午前11時58分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
3番 安藤 利博君 6番 佐藤 武君 9番 保田 守君
10番 大口 浩志君 14番 松田 勲君 17番 下山 哲司君
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
市長 友實 武則君 副市長 前田 正之君
総合政策部長 山本 幸治君 総務部長 入矢五和夫君
財務部長 作本 直美君 消防長 井元 官史君
秘書広報課長 小引 千賀君 政策推進課長 山崎 和枝君
総務課長 花谷 晋一君 暮らし安全課長 岡本 和典君
財政課長 和田美紀子君 管財課長 戸川 邦彦君
税務課長 光田 尚人君 消防総務課長 檜原 秀幸君
通信指令室長 納所 浩典君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 事 平尾 和也君
- 8 審査又は調査事件について
1) 議第33号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）の総務常任委員会所管部分
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前11時15分 開会

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会総務分科会を開会いたします。

これから分科会の審査に入ります。

当分科会の審査対象は、議第33号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）のうち総務常任委員会所管部分であります。

執行部からの補足説明がありましたらお願いします。

なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようにお願いします。

それでは、お願いします。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） 議第33号令和3年度一般会計補正予算（第3号）の秘書広報課関係分につきましては、総合政策部分科会資料の1ページ、補正予算書は14ページから15ページ、説明資料は4ページから5ページとなりますが、本会議での提案説明のとおりでございまして、補足説明はございません。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

○政策推進課長（山崎和枝君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 引き続き御説明させていただきます。

政策推進課分といたしましては、歳入は予算書10ページから11ページ、説明資料は2ページから3ページでございます。

提案説明のとおり、追加説明はございません。

続きまして、歳出でございます。

こちらは、予算書14ページから15ページ、説明資料は4ページから5ページでございます。

こちらも提案理由の説明のとおり、追加の説明はございません。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） それでは、総務課分を補足説明いたします。

総務部の分科会資料1ページを御覧ください。予算書は14ページから15ページ、説明資料は4ページから5ページとなります。

資料1ページを御覧いただければと思います。

歳出①の一般管理費では、郵便の料金後納に対応する郵便料金計器の賃借料として71万

2,000円の計上をしております。この郵便料金計器とは、郵便物の重さを量りまして郵便料金を封筒に刻印します。併せて料金総額を集計する機械でございまして、郵便局が認定する機械を導入し、事務の正確性を図るものでございます。

②の内部情報システム運営管理事業では、職員の使用している事務用パソコンを更新するために、購入費用として878万3,000円を計上しております。

以上で総務課からの補足説明を終わります。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） くらし安全課分につきまして、御説明させていただきます。

歳出につきまして、債務負担行為は予算書の5ページ、その他予算は予算書の14から15ページ、説明資料の4ページ、5ページを御覧ください。

市管理道路照明灯のLED化、リース料でございますが、10年のリースを考えております。市内約300基ございます道路照明灯、水銀灯でございますが、こちらをLEDに一度に交換をする。それを10年間リースという契約をさせていただきたいという予算でございます。

説明は以上です。

○財務部長（作本直美君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 作本部長。

○財務部長（作本直美君） 財務部におきましては、本会議場で御説明をいただいたとおりでございまして、補足説明はございません。よろしく願いいたします。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）につきまして、消防が行います各地区の整備事業をお願いしております。詳細説明はございません。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。説明が終わりました。

それでは、これから質疑を受けたいと思います。

質疑をお願いします。

○委員（松田 勲君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 説明資料のほうがいいと思うんですけど、4ページ、5ページの中で、1つは内部情報システムの運営管理事業ということで、職員のパソコンの整備に係る経費が878万3,000円入っております。これは、先日以来言われている件だと思うんですけど、これは基本的にどこに設置されて、これ結構な金額ですけど、何台ぐらいのパソコンで、何人ぐらいの方が使われるのか。そして、これは普通のパソコンとは別に何か特別なソフトとかシステ

ム、そういったものが入っているのかどうかもう少し詳しく教えていただきたいと思います。

それから、その下の防犯対策ですが、これはLED化されるということで分かるんですが、水銀灯は確かに電気料も結構かかるし大変だと思うんですけど、私が前言ったように、全部水銀灯で白ばかりじゃなくて、オレンジ灯、ナトリウム灯だと思うんですけど、そういったとこまで全部水銀灯にされるとどうかというのがあって、特にネオポリスなんかよく霧が深いんですけど、同じ白灯となると境が分からなくて、そのまま進んでしまうということもあるんです。アメリカとかではナトリウム灯が増えていると聞いているんですけど、LEDでそういったナトリウム灯に替えることもできるのかどうか、教えていただきたいと思います。

それから、その下の航空写真、新しい修正データによる航空写真ということですけど、どのくらいの大きさで、どこまでが入るんでしょうか。赤磐市内全部入るような航空写真が1枚撮れるのかどうか教えていただきたいと思います。

以上。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 内部情報システムのパソコンにつきまして、私のほうからお答えさせていただきます。

まず、パソコンの台数ですが、50台を予定しております。

次に、設置場所ですが、支所、小学校、中学校、保育園、公民館、給食センターなど出先機関のパソコンの更新を予定しております。

なお、普通のパソコンとは別のソフトウェアが入っているかということで御質問でした。今予定しておりますのはオフィスですので、ワード、エクセル、パワーポイントのインストールのみです。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） LED化の御質問でございます。

原則としては、今委員おっしゃられましたように、白色のLEDということで考えておりますが、御指摘いただきましたように、白色では見づらい、例えばオレンジ色のLEDもありますので、そういったほうが現場で見やすいということがございましたら、地元の区長、町内会長さんあたりと相談させていただく、あるいは明るさ、見えやすさというのは、業者と相談させていただいた上で、金額等にもよりますけれども、必要に応じて色の調整はさせていただきたいと考えております。

以上です。

○税務課長（光田尚人君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） 今回も赤磐市全域のデジタル航空写真を撮らせていただいて、写真地図の作成をさせていただくよう考えております。

税務課からは以上です。

○委員（松田 勲君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ありがとうございます。

まず、最初のパソコンですが、それだったら通常のパソコンを購入というだけで、何もこの内部情報システムだけのことじゃなくて、ただの更新と考えたらいいですか。

それと、防犯のほうは、特に桜が丘の場合は信号のない交差点だらけです。そういった中で、道路に赤枠をつけたり、いろいろしているんですけど、昼間はいいですけど夜は分かりづらいというのがある。水銀灯とかLEDがずっと並んでいるんですけど、特に危ない交差点はオレンジ灯にすると、あそこにあるんじゃないかと、気をつけようと、そういったことも含めて、地元調整もしながら進めていただきたいと思いますと思うんですが、その辺は大丈夫でしょうか。

それから、航空写真。これせつかく航空写真を撮られるんですけど、これはどういったことに使われるのか、ちょっと教えていただきたい。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 松田委員の御質問にお答えします。

御指摘いただきましたとおり、職員のパソコンを通常更新するものでございます。当初予算が骨格予算であった関係上、6月補正で間に合うものは6月補正でということでしたので、この補正に計上させていただいたものでございます。

以上です。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 防犯灯LED化につきまして、今おっしゃられましたように、白色でないほうが見やすいということが判断されましたら、そこについては調整をさせていただく。また、おっしゃられましたように、交差点等でそこを交差点である、あるいは横断歩道があるということを強調したいということでございましたら、今回のLEDによる色の変化、それによる視認ももちろんですが、横断歩道そのものに、例えばここに横断歩道がありますというような、別の対策も併せて検討させていただきたいと考えます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） こちらの航空写真を撮らせていただくことで、実際に入って見ることができない土地や、人の目線では確認できない建物等の現況確認資料ということで、まず

評価に必要な土地のポイントの現況を確認できるということで、適正な固定資産の台帳の作成に活用させていただいておるところでございます。

○委員（松田 勲君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ありがとうございます。大体分かりました。

ただ、航空写真ですけど、これはそういった固定資産税以外に利用することは駄目なんですか。そこだけちょっと教えていただければ。

○税務課長（光田尚人君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） こちらは写真を撮りまして、デジタル航空の地図も作成しており、公用の請求につきましては地図を出して現場の確認ということには役立てて、活かさせていただいております。

一応、こちらにつきましては課税の資料として、まず固定資産の賦課をするための資料として作成させていただいているところでございます。

○委員（松田 勲君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 私が言いたいのは、固定資産税で使うのはもちろんのことですけど、せっかく航空写真を撮られるんだったら、その航空写真をほかの利用にも使えるかどうか。例えば、消防署の玄関入ったところに航空写真ありますよね、でっかいのが。ああいったものとか、ここにもありますけど、航空写真が。そういった、ほかの用途に使ってもいいのかどうかを確認します。

○税務課長（光田尚人君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） こちらのデジタル航空写真の資料につきましては、一応税の賦課の資料としての目的で使う形で整理させていただいております。その運用の中で、現場がどうなっているかのあたりにつきましてだけ、公用請求にて地図を出させていただいているといった状況でございます。

○委員（松田 勲君） 使えないってことですか。

○税務課長（光田尚人君） 基本的には、賦課の目的以外には使えないということになっております。

○委員（松田 勲君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 市がお金を出して、航空会社に頼んで航空写真を撮るんでしょう。その著作権はどっちにあるんですか。市じゃなくて航空会社にあるんですか。その辺をちょっと確

認したいんです。

○分科会委員長（佐藤 武君） 版權について、明確にお答えください。

光田課長。

○税務課長（光田尚人君） 版權は市ですが、賦課のための資料ということでの位置づけで税務課のほうでは……。

○市長（友實武則君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 私が聞いているのと違うので、少し確認のために暫時休憩を入れてください。

○分科会委員長（佐藤 武君） 5分もあれば大丈夫ですか。

○市長（友實武則君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） じゃあ、35分まで休憩します。

午前11時30分 休憩

午前11時35分 再開

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、再開します。

答弁をお願いします。

○市長（友實武則君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 友實市長。

○市長（友實武則君） まず方針を言う前に、誤解があったような説明になったことをおわび申し上げます。申し訳ございませんでした。

この航空写真の数値データは市の権限で活用ができます。ただ、固定資産税のために作ったデータがそのままほかの分野でということにはなりませんので、ほかの分野が使用するためには、その分野ごとに加工等の必要は生じます。けれども、例えば赤磐市全域の地形図データ、これはもう相当古いです。ですから、新しいものにここで刷新するためのベースとなると思っております。そういった他の用途、この地図データで例えば道路管理台帳あるいは水道の管路台帳、下水道の管路台帳、そういったことに広く使用していくことを目指していきたいと思っております。

そのためには、それぞれの分野でまたデータ加工、補足等の予算も必要になってこようかと思えますけれども、順次新しいものへと切り替えていけるように努力していきたいと思えます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

よろしいですか。

下山委員。

○委員（下山哲司君） ちょっと関連でお聞きするんですけど、この航空写真で前年度なかつ

たのに、田んぼの中に農機具庫ができとったとか、そういう確認の意味、恐らくそれが主だったと思うんですが、何年に1回更新しとんですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） 6年おきでございます。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） それはもう確定して、必ず6年おきにやっとするんですね。赤磐市になって16年になるけど、どうもあまりその話が記憶にないんです。旧町の場合には定期的いきちんとやっとなった記憶があるんですが、赤磐市になって、やっとしても予算的なもので見落としとけば分かんのですが、そういう部分が税務課としては優先と思うんですが、どうですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） 合併17年度にいたしまして、平成21年度、27年度、そして令和3年度といった間隔でやらせていただいております。

○委員（下山哲司君） 結構です。

○分科会副委員長（安藤利博君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 安藤副委員長。

○分科会副委員長（安藤利博君） 6年ごと更新ということですけど、当初の税務課の説明だと、固定資産税の把握といいますか、それに使うということですけど、1,300万円、6年で更新ということになると、年二百数十万円。これだけ固定資産税を徴収できるということがないと、費用対効果で合わない。だから、当然市長言われたように、ほかの用途にも使えることを想定しておかないと、固定資産税の徴収だけに1,300万円、6年分を払うというのはすこぶるもったいない気がします。固定資産税200万円というと、相当な大邸宅か何かになってくると思いますが、それだけじゃあとてももったいないと思うんで、有効活用という形で、市長言われたような形、いろんな用途に使っていただければと思います。

○分科会委員長（佐藤 武君） 答弁はよろしいですか。

○分科会副委員長（安藤利博君） 結構です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 関連してお聞きしますが、お金を借りずに家を建てとる人は登記せんでも住めるわけで、お金を借りれば必ず登記せんと自分のものにならんからあれですが、農機具庫とか建て替えとかいろいろやっとする人で全くお金借りん人は登記していない家が結構あるんですね。その場合の税の徴収はどうなっとんですか。この写真が生きてできてるのか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） 登記されなくても賦課はさせていただくようになりますので、現

状確認等が出てきた部分と、それから航空写真でも確認をいたしまして、実際に建ててある建物であれば、1月1日にあれば賦課をさせていただくので、よろしく願いいたします。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ですから、農機具庫にしても、住宅の家にしても、建った確認はどうやってしとんですか。今の吉井支所を例えてみれば、今おる職員さんで把握は恐らく九分九厘無理じゃと思う。だから、そういうことに対してこれが生きてくるんだらうというんですが、6年に1回だったら去年なかったのが今年あるということは、6年目にならんと分かんませんが。そういうことに対してどういう対応をしているのか、お聞きします。

○分科会委員長（佐藤 武君） 光田課長。

○税務課長（光田尚人君） 航空写真だけでなく、定期的なパトロールをさせていただいております。固定資産税班の中で定期的なパトロールをしまして、新築がここにできているという部分を毎年定期的に確認させていただいています。

○委員（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今回の補正予算で一番期待しとるのが、金額はそうでもないんですが、空き家の家財道具撤去補助金。これは、特に田舎の方々はずごく期待をしとられる案件だと私自身は思っています。そこで、細かい運用面をちょっとお聞きしてもいいですか。

そしたらまず、これの補助金の交付先はどなたでしょう。

○政策推進課長（山崎和枝君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 交付先というのが補助対象者というイメージかと思います。

こちらは、赤磐市の空き家情報バンクに登録しておられる空き家の所有者であることを交付条件にさせていただいております。空き家の所有者が、空き家バンクに売却、賃貸等で自分の所有から離れることは構わないですけれども、この補助金を受けていただいた後、2年以上は空き家情報バンクに登録していただくということを要件にさせていただいております。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 代理で地元区長とかが交付申請はできるんでしょうか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 代理というのが、書類を持ってこられるというようなイメージであれば、あくまでも所有者の申請ということでお願いしたいと考えております。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） なぜこういうことを言うといいますと、やはり若い人が外へ出とられる。残とられる方がお年寄りだけ。お年寄りともなかなかお話がうまいこといかない、もしくは病院、施設等の案件で、もう地元の人から見てももったいないというような家もたくさん

ございます。そういうところへ1軒でも子育て夫婦が安い賃料とかで入っていただけたら、すぐこの補助金の意味があるという前提で今のようなことを聞いています。追加で例えば片づけを地元有志が受けることができるのか。それと、一番ネックになるのが田舎暮らしの方でしたら御想像つくと思うんですが、仏壇のことです。仏壇の撤去及び、その仏壇の撤去に伴う、いわゆる田舎の人ですからお寺さんに拜んでもらいたいというようなことにもなりますので、そういうのが合わせて関連費用として柔軟に運用していただけるのかどうか。せっかくこうやってつくっていただいているので、より1軒でも2軒でも、できれば子育て世代が入っていただけるような方向性として今の部分なんかはどうなんだろうということと、今ここでこの予算については総務で議案として上がりますが、先ほどもちらっとありましたけど、ほかの空き家対策予算のようなものが、建設が大分持つようなものもあると思います。できれば、どこかワンストップとは言いませんけど、よく言うたら一回しということにならないような運用を心がけていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○政策推進課長（山崎和枝君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） それではまず、片づけを地元で請け負うのはどうかということですが、今私どもで検討させていただいておりますのは、やはりいろんな家財が出て、廃棄物の処理等の関係も出てきますので、基本的には一般廃棄物の処理業の許可を持たれている方をお願いすることを想定しております。仏壇も、もちろん今回の費用の対象にしております。

それから、先ほど空き家の解体除却等については建設課、こちらの利活用については政策推進課ということで、運用させていただいております。もともと赤磐市の空き家の対策計画につきましては、建設課が総合窓口でさせていただいておりますし、またいろんな部署にも関連してきます。環境、景観とか、そういうことであれば環境課にも関連しますし、防犯、防災、いろんな課にも影響してきます。今はあっちだこっちだということもありますけれども、各部署でそういう案件があれば、特に解体、適正管理が必要なものについては建設課、利活用ということであれば政策推進課につないでいくよう、内部の連携を図っているところでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 適正な廃棄物処理業者っていう表現はもちろん分かるんですが、たまたま旧英田町分の家をとということで、片づけをするのに業者に見積りを取ったら、片や70万円、これは高いということでお願いをしたら、次は今度30万円というぐらい、値段があつてないようなものなので、その辺の部分も含めて、せっかくやる気になつとられる方もしくは地域の方々の後押し、先ほども申し上げましたけど、その家から新たな笑い声が聞こえるというような目線で運用していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○政策推進課長（山崎和枝君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 先ほどの、廃棄物の業者ということですが、こちらは赤磐市に登録していただいている業者をお願いをしていただくことを想定しております。おっしゃられるように、地元有志の方で片づけをされたときの費用となりますと、どのように実績を確認するかということも出てまいりますので、御意見のほうは賜りたいと思っております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） よろしいですか。

○委員（下山哲司君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 片づけをする人が、片づけ賃よりお宝市場へ出しとった商品の方が価値あるようなのがちょこちょこあるんですが、片づけんでもいいものまで片づけられる業者がおられるんじゃないけど、そういう問題は赤磐市では1回もないですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 答弁可能ですか。

○政策推進課長（山崎和枝君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 今のところそういう案件は把握しておりません。もし、今回の空き家補助を御活用されたときに、そういうお宝が出た場合、それが価値あるもので、それで収入を得るといようなことがあれば、それは補助対象金額からは差し引かせていただく予定にしております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） そういう意味でなく、黙って持って帰られてお宝市場に出とるというのがあるから、そういうことは赤磐市ではなかったんですかとお聞きしました。

○政策推進課長（山崎和枝君） 特にそういう報告は聞いておりません。

○分科会委員長（佐藤 武君） いいですか。

○委員（下山哲司君） 結構です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかに質疑はありませんか。

安藤副委員長。

○分科会副委員長（安藤利博君） 大口委員とちょっと違うんですけど、桜が丘にも結構空き家があるんですけど、想定している対象というのは、空き家情報バンクに登録される方なんですよね。現在何人ぐらい登録されている、どのくらい桜が丘で空き家があるということは把握されているんでしょうか。何割、何%が空き家情報バンクに登録されているとか。結構古い西の1丁目とか東の6丁目とか空き家が増えているんです。そういったところをこういった形で流通といいますか、新しい方に入ってもらうということを進めるのであれば、ここにおられな

い方、親族の方かも知れませんが、そういった方にもっと知ってもらい、広報を進める、そういったことは考えられていないのでしょうか。

○政策推進課長（山崎和枝君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） まず、空き家バンクに登録の軒数ということですが、こちらは現在、売却したり賃貸したりして登録から外れることもあるんですが、今のところは15軒ということでございます。

実際、空き家がどれだけ赤磐市内であるかということですが、平成29年、赤磐市の空き家対策計画をつくる時に調査をさせていただいた軒数になるんですが、家屋の軒数が1万2,112軒に対しまして、実態調査に基づきまして1,260軒の空き家がございます。空き家率としては10.4%でございます。それから、統計数字にはなっているんですが、平成30年に住生活基本調査という統計調査をさせていただいております。こちらが、赤磐市としては空き家が3,090軒、16.1%ということになっております。

それから、桜が丘ということですが、西と東とありまして、29年度当時であれば、桜が丘西が150軒程度、桜が丘東が90軒程度で、西が11.6%、東が9.31%という数値でございます。

それで、特にネオポリス両団地につきましては、一般の不動産業者等もいろいろ入られて、流通は進んでいるかと思えます。空き家バンクに登録されると、やはりネオポリスとか山陽団地、そういう物件は割とすぐに成約につながるという状況でございます。

5月に税務課に御協力いただきまして、固定資産の通知をするときに、空き家であろうがなかろうが、家をお持ちの方に対して、空き家バンクに登録をお勧めするチラシを入れさせてもらっております。また、地域の方々、町内会長さんや区長さん等にもこういった制度の御案内も随時させていただければと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

よろしいですか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） 最初のFM事業で、さっきのラジオの件があるんですが、予算が2つついてますよね。ラジオ中継特番ということの委託料と、あとシティプロモーション事業と両方あるんですが、これ具体的にいつ頃をめどに、どういった形でされようとするのか。新型コロナウイルス感染症対策ということで、近いうちにされると思うんですが、その辺の詳しいことをちょっと説明願いたいと思います。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） 私のほうからは、シティプロモーション事業で予算を取らせ

ていただいているラジオ番組についての御説明をさせていただこうと思います。

今予定しておりますのは、月2回の放送で、朝8時半から5分程度の生放送になります。こちらで新型コロナウイルス感染症対策とか、支援事業、ワクチンの接種についての情報をお伝えするような番組を予定しております。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 私のほうからは、イベント委託料の44万円についてですが、こちらは赤磐中継局の開局2周年の記念事業としまして、防災、交通安全、防犯、消費生活、コロナ等の呼びかけをさせていただくような番組を持たせていただきたい。これは、令和4年3月上旬、開局の記念の日に合わせてさせていただきたいと考えております。

○分科会委員長（佐藤 武君） いいですか。

○委員（松田 勲君） いいです。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにないようですので、これで質疑を終わります。

以上で当分科会の審査は全て終了しました。

なお、委員長報告については委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでした。

これで予算審査特別委員会総務分科会を閉会といたします。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前11時58分 閉会